

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

上笹下地区は磯子区の南部に位置した南北縦長の地域で、エリアの面積は区内最大となっています。円海山や大岡川の清流など、恵まれた自然環境があり、夏には、今では珍しくなった蛍の観賞ができるなどの磯子区民の憩いの地域を有しています。昭和40年代に開発された大規模集合住宅、大手不動産会社が開発整備した宅地などが混在。南北を縦断するように笹下釜利谷道路が走っていますが、一步入ると、坂や狭い道が多く、高低差もあります。公共交通機関は充足している状況とは言えません。地区の世帯構成は、子育て世代の転入も一部地域に見られますが、高齢者の一人暮らし、夫婦のみの世帯が多く、地区全体の高齢化率は30.6%。特に氷取沢町では41.9%と進行しています。新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う自粛生活から体調を崩される方や、鬱傾向や認知機能の低下をきたす方も増えて来ており、地域での見守り活動や介護予防の取り組みなどが益々重要になってきていると感じます。南北に縦長という地区の特徴を踏まえ、ケアプラザへ足を運ぶことが難しい方、ケアプラザの事を知らない方に対し、出張講座やサロン活動を通して、周知活動を行うと共に、身近な場所で健康づくりの取り組みが行える様にしていきます。人的資源・社会資源の育成と地域企業との共創を図り、年を重ねても住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、地域包括ケアシステムの構築を目指していきます。新型コロナウイルス感染症の影響によって、休止されていた地域行事が様々な工夫で継続・再開されつつあります。今後も予想のつかない出来事がおこるかもしれませんが、地域の皆様方と話し合いを重ね、連携を深めていけるよう努めてまいります。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもや障害児・者、およびその家族が困ったときに共有できるような、情報ツールを作成、自治会町内会、関係施設などへ配布、提供できるように努める
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	介護予防も兼ね、5月から上中里団地新集会場を借り、毎月1回講師を招き「ヨガ教室」を開催
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	適切な支援のためのケアマネジメントまた資源開発・政策形成の為の地域ケア会議を年3回以上開催する（個別2回 包括1回）
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年度は、高齢化の進む地区でヨガ教室を開催するなどの介護予防、おもちゃやプラレールを広げ、小さな子供たちが自由に遊べ、親同士が交流出来る、ケアプラザ多目的室を活用した子育て事業に力を入れてきました。また、地域の集いの場の原点ともいえる寺社仏閣のご協力を得て講座を開催するなど、コロナウイルス感染症の収束がまだ見られないなかで、心と体の健康をどう保っていくことができるかを考えながら事業を行ってまいりました。地域ケア会議においては、包括支援センターが関わったごみ屋敷等の事例を通し、認知症の早期発見・早期対応につながるよう、地域との連携や見守り等のネットワーク構築に向け協議する機会を持つことができました。今後さらに増えると予想されている認知症に関する普及啓発、身近な相談窓口としてのケアプラザの周知活動にさらに力を入れたいと考えています。

区からのコメント

まだまだ新型コロナの影響が強い中、ケアプラザ多目的室を利用した事業の実施は大変だったことと思われます。その中でケアプラザから飛び出し、団地の集会所や神社仏閣を活用した講座の開催ができたことは大変意味のある事だったと考えます。地区が縦長でありケアプラザに来づらい地域もあることを考えると、次年度以降もアウトリーチを意識された事業展開や普及活動をお願いできればと思います。また、地縁団体の活動支援も引き続き積極的にお願いします。地域ケア会議で、個別から包括レベルへと、繋がりを持って開催できたことはとても良かったと思います。包括レベルについては、ごみ屋敷の片付けを専門におこなっている方や幅広く地域の方に参加いただけており、地域の方には現在関わっていない方にも、よそ事ではないということが伝わったように思います。